

平成30年度予算のポイント

予算編成方針

平成30年度予算は、

「将来を見据えて財政の健全性を堅持しつつ、東京2020大会の成功とその先の未来に向けて、都政に課せられた使命を確実に果たしていく予算」と位置付け、次の点を基本に編成しました。

- 1 「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」の3つのシティの実現、「新しい東京」の創出を目指し、東京の持つ無限の可能性を引き出す取組を積極的に推進すること
- 2 従来にも増して創意工夫を凝らし、より一層無駄の排除を徹底するなど、ワイズスペンディングで都民ファーストの視点に立った取組を推進すること
- 3 東京2020大会の開催準備に係る取組を着実かつ効果的に推進すること

平成30年度予算フレーム等の概要

() 内は29年度対比

一般会計 歳出総額	7兆460億円 (+920億円)	↑	2年ぶりのプラス
税 収	5兆2,332億円 (+1,421億円)	→	29年度予算を上回るものの28年度決算を下回る (地方消費税の清算基準の見直しにより ▲1,040億円の影響額)
一般歳出 (政策的経費)	5兆1,822億円 (+1,387億円)	↑	2年ぶりのプラス ・ 3つのシティの実現に向けた取組の加速化 ・ 東京2020大会準備の本格化
事業評価	財源確保額 870億円 (+150億円) 評価対象件数 1,086件 (+196件)	↑	・ 客観的指標 (エビデンス・ベース) に基づく 評価を新たに導入、 676件 (過去最高) の 見直し・再構築 を実施 ・ 無駄の排除を徹底、確保した財源を活用し、 407件(過去最高)の新規事業 を構築
都債の発行	2,107億円 (▲876億円)	↓	発行額は3年連続のマイナス ・ 発行抑制により、都債残高は6年連続の減少
基金の残高	2兆1,183億円 (▲3,899億円) * 30年度末残高	↓	東京の持つ無限の可能性を引き出す取組と東京 2020大会の開催準備を積極的に展開するた めに、 3つのシティ実現に向けた基金を取崩し

より一層メリハリを効かせながら、東京2020大会の開催準備を加速化させていく予算

30年度予算の主要事項

I 誰もがいきいきと活躍できる都市

—「ダイバーシティ」の実現

- **子供を安心して産み育てられる環境の整備** 1,847億円 (+217億円)
 結婚から出産、子育てまでの切れ目ない支援、待機児童解消に向けた取組 など
- **高齢者が安心して暮らせる社会の実現** 841億円 (+123億円)
 高齢者の暮らしへの支援、介護人材の確保・育成・定着 など
- **誰もが活躍できる社会の実現** 275億円 (+132億円)
 ライフ・ワーク・バランスの充実、高齢者の社会参加の促進 など

など

II 日本の成長をけん引し世界の中で輝き続ける都市

—「スマートシティ」の実現

- **国際金融・経済都市の実現** 3,407億円 (▲251億円)
 国際金融都市の実現・外国企業誘致の加速化、成長産業の育成・強化 など
- **世界に開かれた国際・観光都市の実現** 375億円 (+54億円)
 外国人旅行者等の誘致、多彩な観光資源の開発・発信 など
- **スマートエネルギー都市の実現** 127億円 (+39億円)
 電動自動車の普及促進、省エネルギー対策の推進 など

など

III 安全・安心でにぎわいにあふれる都市

—「セーフシティ」の実現

- **地震が起こっても倒れない・燃えないまちづくり** 1,298億円 (▲171億円)
 無電柱化の推進、木造住宅密集地域の不燃化・耐震化 など
- **災害対応力の強化** 357億円 (+252億円)
 帰宅困難者対策、女性視点の防災対策 など
- **地域コミュニティの活性化** 67億円 (+0億円)
 商店街の活性化支援、良質な住環境の形成（空き家対策の推進） など

など

IV 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた取組

V 多摩・島しょの振興

VI 東京の持続的成長を支える最先端技術の活用

1,303億円 (+655億円)


2,390億円 (+84億円)

686億円 (+209億円)

コラム 都民・職員による事業提案制度

● 予算編成プロセスの見直しによる「東京大改革」の加速化

- 平成30年度予算では、29年度に実施した東京大改革の取組を更に加速させるため、広く都民・職員の意見を募り、事業構築に活かす仕組みを新たに導入しました。

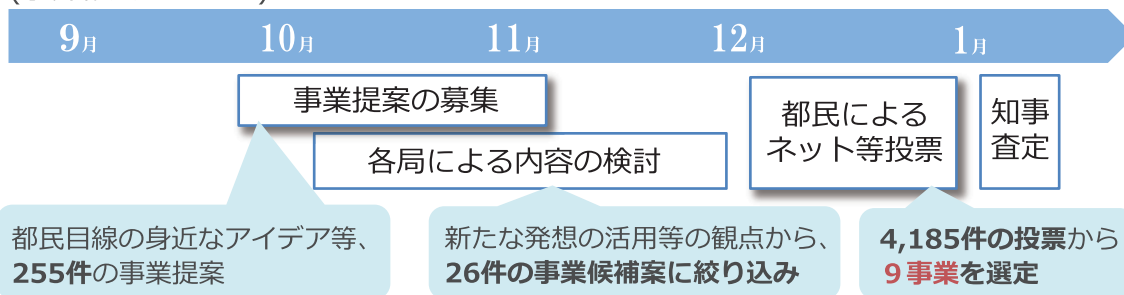
第1弾 29年度予算編成	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各種団体・区市町村からの予算要望 ✓ 査定状況の公表 ✓ 分かりやすい予算関係資料の充実 等 	
-----------------	--	---

第2弾 30年度予算編成	<p>New 都民による事業提案制度 New 職員による事業提案制度</p> <p>一人ひとりの都民・職員の声を直接反映させる予算編成手法を試行的に導入 等</p>
-----------------	---

● 都民による事業提案制度【30年度予算額 8.5億円】

- 本制度は「**都民が提案し、都民が選ぶ**」仕組みであり、都民の声を直接施策に反映させることで、行政にはない新たな発想の活用や、都民の都政への参画を目指しています。

(予算編成プロセス)



【予算反映事業一覧】 ※分野毎に、投票で1位になった提案及び僅差で2位になった提案を事業化 (百万円)

分野	事業名	予算額
子育て支援	森と自然を活用した保育等の推進	200
	元気高齢者など多様な人々が輝く子育て支援員等の確保促進事業	100
高齢化対策	住み慣れた地域での居場所づくり事業	118
	ICTを活用した地域包括ケアシステムの構築モデル事業	180
働き方改革	働く人のチャイルドプランサポート事業	55
防災対策	災害時の活用など多様な課題を解決するための「自転車整備」支援事業	121
空き家活用	空き家の利活用マッチング体制整備事業	15
	空き家の緑化で地域を彩る！貸し庭支援事業	10
環境対策	食品ロス削減！区市町村連携事業	50

⇒ 事業の詳細は<4> 主要な施策 (P31以降) で紹介しています。

● 職員による事業提案制度

- 本制度は、**全ての職員が垣根を越えて都政運営に参画する**仕組みであり、職員の経験や知識を活かした実効性の高い施策の立案を目指しています。
- 応募総数164件の事業提案の中から、「シニア向けセミナー農園整備事業」や「SNSを活用した教育相談体制の検討」など、実効性の高い事業を15件予算に反映しています。